

令和4年4月7日

各利用団体 御中

山形市少年自然の家
所長 小関 仁美

令和4年度の利用について 「お願い」

日々お忙しくお過ごしのことと推察します。日頃より当自然の家の事業にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、標題に掲げました通り、今年度は、下記のルールに従って利用していただきますようご案内致します。ご迷惑をおかけしますがよろしく申し上げます。

記

1. 利用調整について、下記の通り実施します

本来は「指導利用者講習会」において指導者同士が調整していただいておりますが、この会を実施しない場合は自然の家職員で調整させていただき、調整の難しいところのみを指導者間で調整していただきます。

2. 事前打合について

利用の**約一ヶ月前（急遽のキャンセル等を考慮して）**に来所いただき、打合を行わせていただきます。その際は、下記に示す利用指導者講習会でできなかったことを含めて打合とサポートをさせていただきます。

- ① リスクマネジメントを考慮したプログラムとなるようなサポート
- ② コロナウィルス感染拡大防止対策への対応
- ③ 担当の先生の思いを汲んだプログラムとなるようなサポート

3. 各種手続きについて

利用の仕方等については、ホームページ上の資料「自然と友」及び「夏期研修資料」をお読みいただき利用に際しての留意点についてご理解いただきたいと思います。

4. 利用の基本ライン（下記に示す県の警戒レベルによる）

| 新警戒レベル | レベル1（注意） | レベル2（警戒） |
|--------|------------------|---|
| 活動 | 感染対策を講じながら活動を行う。 | 各通知に従い活動の可否を判断する。判断は原則として利用日の2週間前をめどに行うこととする。 |
| 宿泊 | 感染対策を講じつつ宿泊も可能。 | 各通知に従い宿泊の可否を判断する。判断は原則として利用日の2週間前をめどに行うこととする。 |

→ 「レベル3 特別警戒」以上は 各種事業の実施は控える

※以下は 「令和3年度まで」の参考資料

| 旧警戒レベル | レベル3 | レベル4 | レベル5 |
|--------|------------------|------------------------|--------------|
| 活動 | 感染対策を講じながら活動を行う。 | 通知に従い感染対策を徹底した上で、活動する。 | 各種事業の実施は控える。 |
| 宿泊 | 感染対策を講じつつ、宿泊も可能。 | 宿泊は不可。日帰りの活動となる。 | |

5. 今後の対応について

感染状況に合わせて、その都度「利用内容」を変更していきます。変更したことについては、個々の事前打ち合わせの際に詳細をお伝えします。

※ 参考資料 コロナウィルス感染防止対策 利用にあたって

I. 利用にあたっての共通の考え方

- ・マスクを着用しての活動が原則。
- ・使用したマスクは、自分で持ち帰る。
- ・活動時は最低1mの間隔をあけるようにする。
- ・37.5度以上の体温の場合は帰宅する。

II. 本館利用の考え方

- ・入館時 玄関の水場で手を洗ってから入る。
- ・入浴時
 - ①手順 シャワーを浴びる→入浴→シャワーを浴びる→浴室を出る。
 - ②人数 一度に10人の入浴とする。(シャワーが11口のため)
- ・本館宿泊時
 - ①宿泊棟の部屋は12人部屋だが、なるべく余裕をもって泊まれるような人数にする。
※1F・2Fともに、1部屋12床×9部屋 +指導員室4床・打合室
※半数(108人以上)を超えて宿泊する場合は、部屋の窓(片方全部)と出入り口の扉を開けて就寝する。(寒さ対策として暖房は、一晚中つけ放しも可)
 - ②入口・窓を開けて換気に心がける。
 - ③シーツや枕カバーは、他者が使用したものは片付けず、自分が使ったものを一人ひとり片付けるようにする。
 - ④掃除が終わったら、必ず手洗いをする。
 - ⑤洗面時は距離をとって並ぶ。(間隔をとって並ぶよう声がけをお願いします。)
- ・食堂利用時
 - ①マスクを着用して盛り付けられた皿を一人ひとりがもらう。
※食堂のテーブルは、対面でも座ることができるように、飛沫感染しないようについでを常設しております。
- ・プラネタリウムとプロジェクトアドベンチャー
 - ①利用を感染状況を踏まえて、その都度判断する。

III. キャンプ場利用の考え方

- ・宿泊時
 - ①各テントの利用人数及び可否の判断は感染状況によって判断する。
 - ②インナーシーツは他者が使用したものは片付けず、自分が使ったものを一人ひとり片付けるようにする。
 - ③掃除が終わったら、必ず手洗いをする。
 - ④洗面時は距離をとって並ぶ。
- ・炊飯棟利用時
 - ①手洗いを徹底する。
 - ②使う道具については、使用前、使用後に除菌スプレー(スキッシュ)をする。
 - ③かまどは、間をひとつあけて行う。
 - ④食べる時には、一方向を向いて食べる。
 - ⑤感染状況によってはレトルト食品の湯煎調理のみとする。

IV. サービスセンター利用時の考え方

- ・入館時に手洗いをしてから入る。